

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営推進会議の参加者が減り、事業所への要望やサービス内容について、ご家族の意見が反映されにくい状況にある。	①家族等のエンパワメントの活用 運営推進会議の意見の反映できるよう、特定の家族のみだけでなく、参加されていない家族からの意見を取り入れる事で、事業所に対しての理解が深まる。	①運営推進会議に年に1回は必ず参加して頂けるよう、予め会議日程を配布し、参加できる時を確認する。②ご家族の都合に合わせて、職員も交えてカンファレンスを開催する。	12ヶ月
2	33	入居者の重度化が進み、事業所で看取りを行う事が増えてきた。その為、看取りに関する理解を深め、ケア時の不安を払拭する必要がある。	グリーフケアや終末期に対しての学びを深める事で、ケアの質を高め、職員の自信と働く原動力につなげる。	①勉強会の実施(職員の疑問や不安を整理し、根拠のあるケアを行えるようにする。アンケートの実施) ②マニュアルや手順の整備(不安に思った時、確認できる物を作成する。)	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。